| 学校番号 | 107 |
|---|---|

令和８年度　音楽

| 教科 | 音楽 | 科目 | 器楽<br>(合奏) | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 管弦楽用譜面 | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・管弦打楽器専攻生が全学年合同で行います。専攻実技のレッスンを通じて身に着けた演奏技術と表現力を前提に、オーケストラという形での合奏の中で場面に応じた自分の役割を理解し、他の奏者と息を合わせた演奏をすることで、ソロの練習だけでは養うことのできない表現力とアンサンブル能力を身に着けます。
・楽曲の中での自分の役割を理解するためにスコアリーディングの技術は欠かせません。音楽理論や音楽史等で学んだ知識を活かしながら、オーケストラ総譜から生き生きとした音楽を読み取る技術を学びます。自分の役割を意識しながら音楽表現を工夫し、他のパートと響き合わせる合奏ならではの魅力を感じ取りながら、作曲家の意図を再現することの大切さを学びましょう。
・合奏をする前には、セッティングも含めた前後の準備をきちんと行うことも大切です。お互い協力しながら演奏会やオーケストラを運営していく力も身につけましょう。

2　学習の到達目標

器楽に関する専門的な学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
【知識及び技能】楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に表現するために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・楽曲の表現内容について、曲想、音楽の構造などに加え、文化的・歴史的背景との関わりなどについて理解をしている。【知識】<br>・自分の表現意図をもって、創造的に表現するために必要な技能(曲にふさわしい音色、身体の使い方などの技能や、表現形態の特徴を生かして演奏する技能など)を身に付けて、器楽で表している。【技能】 | 楽曲の内容や、音楽の構造を分析し、フレーズや楽曲全体をどのように演奏するか、表現意図を持っている。また楽曲の文化的・歴史的背景や様式を踏まえた演奏法などについて考え、音楽性豊かな表現について考え、創意工夫の過程において知識技能を生かし、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 | 様々な時代や様式の音楽、地域やジャンルなどによって異なる多様な音楽について主体的に学習し、楽器の特徴などを生かした音楽性豊かな表現を追求する過程に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 |

| |
|---|
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価します。年度末評定については専攻によって評価の比率が異なるため、教科担当より説明します。 |

4 学習の活動

| 学期 | 題材 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 合奏 | ・定期演奏会等の発表会用演奏曲の練習(パート練習と全体練習、各パートの演奏発表)<br>・オーケストラスタディ | a:【知】<br>専攻楽器に関する基本的な知識を持ち理解している。<br>・楽曲について、曲想、音楽の構成などに加え、作曲家の文化的・歴史的背景などの関わりについて理解している。<br>【技】専攻楽器に関する基本的な奏法について理解し実践できている。<br>b:専攻楽器に関する知識や技能を総合的に働かせ、楽曲に応じた、音楽の構造を分析し、創意工夫の過程において知識技能を生かし深めながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c:楽曲の作られた時代や様式について、関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。<br>・定期演奏会に向けての取り組みを通して、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとしている。 | 実技試験 | ワークシート<br>振り返りレポート(定期演奏会後) | 観察<br>ワークシート<br>振り返りレポート(定期演奏会後) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 合奏 | ・オーケストラの基礎的なレパートリー<br>・学年別アンサンブル<br>・オーケストラスタディ | a:【知】<br>専攻楽器に関する基本的な知識を持ち理解している。<br>・楽曲について、曲想、音楽の構成などに加え、作曲家の文化的・歴史的背景などの関わりについて理解している。<br>【技】専攻楽器に関する基本的な奏法について理解し実践できている。<br>b：専攻楽器に関する知識や技能を総合的に働かせ、楽曲に応じた、音楽の構造を分析し、創意工夫の過程において知識技能を生かし深めながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c:楽曲が作られた時代や様式について、関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 | 実技試験 | ワークシート②<br>振り返りレポート | ワークシート②<br>振り返りレポート |